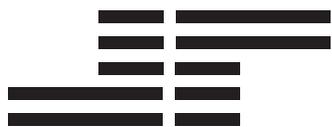


CUTTING-EDGE NETWORKING
SYNERGY ENVIRONMENT MACHINERY REDISCOVERY TRACEABILITY MATERIAL
CONNECTED LIFE CYCLE SUSTAINABILITY
BENEFIT LINKING COLLABORATION HYGIENE ECO-FRIENDLY CONVENIENCE
GLOBALIZATION RISING RESOURCE PRICES LEGAL COM
AUTOMATION & EFFICIENCY DX
TECHNOLOGY INNOVATION PURSUIT EXCEED
SUPPLY CHAIN MANAGEMENT
AI FUTURE IoT
PACKAGING CIRCULAR ECONOMY VISI
GX SAFETY & SECURITY MARKET EXPANSION DESIGN
CARBON NEUTRAL CHANGE SDGs
SOLUTIONS TREND SX LABOR SHO
CHANGING CONSUMER PREFERENCES ECOS
REALIZE NONEXISTENCE

BEYOND

包むで創る 人と未来と
Create the Future of Packaging Together



JAPAN PACK 2025
日本包装産業展

出展のご案内

主催：(一社) 日本包装機械工業会



www.japanpack.jp

2025.10.7 tue. - 10 fri. 10:00-17:00 東京ビッグサイト 東展示棟 4-8ホール

開催にあたって

一般社団法人日本包装機械工業会は、国内外の包装機械、包装資材、包装材料加工機械、食品加工機械、医薬・化粧品製造機器、物流機器および関連機器の新製品を展示公開し、産業の合理化と国民生活の向上に寄与するとともに貿易の振興を図り、関係業界の発展に資することを目的として、2025年10月7日(火)から10日(金)までの4日間、東京ビッグサイト(東京都江東区)において「JAPAN PACK 2025 日本包装産業展」を開催いたします。

JAPAN PACK(ジャパンパック)は、包装業界および関連業界の最新の製品・技術・サービスとそのユーザー・バイヤーが一堂に会する2年に一度の大型商談展示会です。包装分野を軸として、製造加工から出荷に至る幅広い分野にわたるソリューションを一貫してご覧いただける展示規模を有し、ご出展ならびにご来場の皆様をはじめ、広く関係各位よりご好評を頂戴しております。

第35回展を迎える「JAPAN PACK 2025 日本包装産業展」のキャッチコピーは、『BEYOND | 包むで創る 人と未来と』です。直面する様々な課題に革新的な提案を行う“ネクスト・ステージ”の創造へ向けて、“ネクスト”という言葉にさらに一歩進め、力強さや多角的な連携、さらには市場の拡大をイメージさせる言葉として“BEYOND”を据えました。持続可能な社会の実現のために、生産性や効率性を促す様々な新技術と繋がり、イノベーションを“包む”で創る。そして、人と未来を豊かにする。10年後、20年後、その先2050年のカーボンニュートラルも見据えた成長軸において、JAPAN PACKは、アジア最大級の包装産業展へと進歩および進化を続けて参ります。

各々の生産ラインに希求されるテーマに対して、とりわけ“デジタル”と“環境”の両要素も包含しつつ、最先端のトレンドや、新しいアイデア、未来を示唆するコンセプトなどを展示し、ステークホルダーに生産性向上やサステナビリティ推進等の価値を創出する。このような効果的なプロモーションの舞台をJAPAN PACK 2025は創ります。加えて特別展示や特別講演会・専門セミナーなど多彩な併催企画も実施し、皆様の商談に直接的に結びつくマッチングを促進いたします。

JAPAN PACK 2025は、新規ビジネスやブランディングなど貴社の広報・販売推進に大いに活用いただけるものと確信しております。是非とも「JAPAN PACK 2025 日本包装産業展」へご出展いただけますようお願い申し上げます。

一般社団法人日本包装機械工業会
会長 伊早坂 嗣



開催概要

名称	JAPAN PACK 2025 日本包装産業展 Japan Packaging & Manufacturing Technology Show 2025
会期	2025年10月7日(火) - 10日(金) 10:00 - 17:00
会場	東京ビッグサイト 東展示棟 4-8ホール [〒135-0063 東京都江東区有明3-10-1]
開催目的	国内外の包装機械、包装資材、包装材料加工機械、食品加工機械、医薬品・化粧品・日用品製造機器、物流機器、それらに関連する技術・サービスを展示公開し、産業合理化と国民生活の向上に寄与するとともに貿易の振興を図り、包装関連業界ならびに需要業界の発展を通じて、より良い社会の実現に資することを目的とする
キャッチコピー	BEYOND 包むで創る 人と未来と Create the Future of Packaging Together
主催	一般社団法人日本包装機械工業会
特別協力	公益社団法人日本包装技術協会
後援 (予定)	経済産業省／独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)／独立行政法人中小企業基盤整備機構／ 公益財団法人東京都中小企業振興公社／日本商工会議所／東京商工会議所／株式会社東京ビッグサイト

That's why JAPAN PACK

未来を見据えた持続的発展性を実現するために、生産性・効率性向上を促す多様な新技術と繋がり、課題解決に革新的な製品・ソリューションが集結。見て、聞いて、触れて、体感。だから、JAPAN PACKは選ばれる。

01 社会全体がテーマの「総合展」だから、選ばれる

われわれの生活に欠かすことのできない包装および関連産業の最新機器・技術を展示公開、そして体験。「包装×DX」「包装×GX」をキーワードに包装分野を中心とした生産ラインのトータルソリューションを発信します。

02 質の高いビジネスマッチングにつながるから、選ばれる

JAPAN PACKの特徴は、多様な分野とタイアップした包装産業展であること。だから、革新的なアイデアや新技術に出会った後に「それをどうやって自社で活用していくのか」まで一気通貫で濃密な商談空間になるのです。答えを見つけるのは、出展者と来場者か。出展者と出展者か。もしかしたら来場者と来場者かもしれません。これがリアル空間である展示会の強みです。

03 キーパーソンが集結するから、選ばれる

来場者ひとりひとり、求めている課題は異なります。だから、JAPAN PACKで出逢えるのは出展者ブースに並ぶ展示品だけではありません。各界の第一人者が揃い踏みする各種講演会・セミナー、横断的に連携する主催者企画コーナーなど、多様なニーズに応える答えが待っています。

04 注目度が高く、情報発信ができるから、選ばれる

社会になくなくてはならない包装産業が向き合う課題は、当然社会にとっても最注目のキーワード。だから、展示会場に集う報道関係者は媒体も題材も多種多様。テレビや全国紙も業界専門紙誌やオンラインメディアも、産業向けから生活者向けまで幅広いプロフェッショナルたちが記事の種を探しています。製品や技術はもちろん、未来に向けたビジョンやパーパスを発信する場としてもご活用ください。

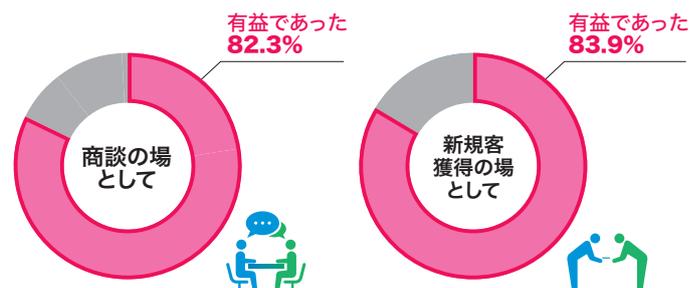
■ 出展者プロフィール (前回実績)

420 社・団体

1,873 小間



■ 出展の有益性 (前回実績)



ともに、80%以上が有益性を実感

■ 来場者プロフィール (前回実績)

34,323 名

包装材料・容器・印刷関係 約8,800名	機械・機器部品・ロボット関係 約4,350名
食品・飲料関係 約7,500名	医療・化粧品・日用品・化学品関係 約3,050名
小売・流通・サービス関係 約4,650名	海外来場者 1,465名

■ 報道関係者プロフィール ※2023年12月1日時点



ターゲット層の課題を解決に導く包装 JAPAN PACK 2025

食品、医薬・化粧品、日用品、工業製品等、あらゆる商品の製造業界へ。

DX推進、人手不足解消、製造コスト低減、消費期限延長、商品の安全安心、プラスチックの適正使用(活プラ)、省エネ・省資源化、サステナビリティ推進による企業価値向上等の課題に対する解決策や取り組みを発信。

商品力向上の
価値を創出する。

スーパーマーケット、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ECサイト等の小売流通業界へ。

人手不足解消、物流コスト低減、製品保護、購買意欲喚起、生活に調和する包装形態、商品ロス削減、回収～リサイクル網の構築、販売現場およびバックヤードでの衛生対策等の課題に対する解決策や取り組みを発信。

販売力促進の
価値を創出する。

持続可能な社会課題の解決に向けて

扱いやすい包装形態、リサイクルしやすい包装形態、超高齢化社会、生活・購買の多様化、衛生性の担保、3R+推進、エシカル消費、プラスチックの適正使用、使用済みパッケージのエネルギー活用、包装産業・関連産業の活性化と発展、人材育成、循環型社会の構築、脱炭素社会の実現等の課題への取り組みを発信。

持続可能社会×包装の
価値を宣言する。

出展募集対象

第1類 包装機械／荷造機械

包装用計量機／計数機、充填機、製袋充填包装機（給袋充填包装機も含む）、容器成形充電包装機、ラベル貼機、印字機、小箱詰機(カートナー)、上包機、シール機、収縮包装機、真空包装機／ガス置換包装機、梱包機(バンド掛機／ひも掛機)、外装荷造機械及び関連設備

第2類 包装資材・容器

紙／板紙製品、プラスチック製品、金属製品、木／布／ガラス、緩衝材、その他の包装資材

第3類 印刷機械・関連機器／包材加工機械

オフセット印刷、グラビア印刷、フレキソ印刷、スクリーン印刷、オンデマンド印刷(デジタル印刷)、インキ、その他の印刷機・関連機器、製袋機、緩衝材付き製袋機、スリッター／リワインダー、紙／板紙加工機械、緩衝材製造器、プラスチック加工機械、その他の包装材料加工機械

第4類 ロボット／機械部品・要素技術／包装関連機械／検査機・検出機

ハンドリングロボット(選別／供給／整列／集積)、協働型ロボット、その他の包装用ロボット、空圧・油圧機器、工業用刃物(ナイフ・カッター)、エアシャフト、ヒーター、モーター／変減速機／間欠装置、歯車／チェーン／ベルト、ポンプ／タンク／配管、センサー／タイマー／温度調節器、電気・電子制御機器、コントローラー／サーボモーター／タッチパネル、工具、その他のコンポーネント、整列機、自動供給装置(被包装品、トレイ)、小袋／カード投入機、バッファー装置、接着剤／ホットメルトアプリケーション、バーコードリーダー、容器洗浄機／洗びん機、静電気除去機、ストロー／スパウト装着機、打栓機、キャップ／キャップシーラー、搬送装置(コンベヤ類)、その他の包装関連機器、重量選別器、金属検出機、ピンホール検査機、異物検査機、X線異物検出機、印字検査機、色彩選別機、形状選別機／外観検査機、画像処理装置、その他の検査機・検出機

第5類 食品加工機械・関連機器

精米麦機械、製粉機械、製めん機械、製パン・製菓機械、生菓子(最中、もち、団子)製造機械、せんべい製造機械、牛乳加工／乳製品製造機械、肉類加工用機械、水産物加工用機械、飲料製造用機械、製茶機械、厨房機器、鮮度管理・品質保持、その他の食品加工機械

の“新しい価値”を提供する場として、 を開催いたします。

展示テーマ

以下の4項目に対応する〈包装の新しい価値〉を展示公開する場として
JAPAN PACK 2025を開催する。



生産現場の自動化・効率化

サプライチェーン強靱化、サプライチェーンマネジメント全体最適化、生産現場のダイバーシティ対応、省人化・省力化、リモート生産体制ニーズ、原料ロス削減・合理化による製造コスト低減、物流・輸送コスト低減等、生産性向上に寄与する製品・技術・サービス



持続可能な社会への対応

ライフサイクル基点の包装企画設計、プラスチックの適正使用および使用量の削減、新素材・代替素材の開発、使用済みパッケージのエネルギー活用、3R+推進、食品ロス削減や食のロングライフ化、エシカル消費への対応等、持続可能な社会への対応に向けた製品・技術・サービス



安全安心の実現

安全安心・衛生性の担保、商品の品質保持・保護・信頼性担保、偽造品流出の防止、誤飲誤食の防止、服薬管理、品質保証、容器包装に関わる法規制への対応等、人々の安全安心を支える製品・技術・サービス



市場の拡大

異分野連携の加速、BCP対応、リモートワーク・シェアリングエコノミーへの対応、食習慣の変化、EC市場の拡大、日本製品の輸出、生産拠点の整備、企業連携の促進、人材の育成、インバウンド消費、デジタル環境の普及による商習慣・消費活動の変化等、包装および関連産業の市場拡大に対応した製品・技術・サービス

第6類 医薬品・化粧品・日用品製造機械・関連機器

混合器、造粒機、コーティング機、打錠機、分包機、攪拌機、混練機、能書折り機、 Rond詰機、アンプル熔封機、パップ剤塗工機、オムツ・ティッシュ加工機、マスク製造機、ナプキン製造加工機、その他の医薬・化粧品関連機械

第7類 環境対策機械・関連機器

圧縮梱包機（ベラー）、粉砕機、生ごみ処理機、廃棄食品分離機／破袋機、廃棄物選別器、廃棄物リサイクル／発泡スチロール減容機、洗浄機・掃除機・集塵機、焼却炉・焼却施設、純水装置・飲料製造用水、その他の環境関連機器

第8類 衛生管理機器・資材

衛生資材、衛生管理機器、その他の衛生管理機器・資材

第9類 物流機械・関連機器／店舗設備機械

運搬車、コンテナ、コンベヤー、仕分け／ピッキングシステム、パレット、情報機器、バーコード・二次元コード作成機／読み取り装置、その他の流通関連機器・サービス、冷蔵ショーケースなど

第10類 デジタル技術／ソフトウェア

IoT、AI、その他のデジタル技術、IoTソリューション、AIソリューション、その他のソフトウェア

第11類 エンジニアリング・システム

工場建設／プラント設計施工、クリーンルーム、HACCP対応システム、GMP対応システム、情報管理システム、その他のプラントエンジニアリング

第12類 団体／プレス／研究・教育機関／人材サポート／その他

団体、プレス、研究機関、教育機関、人材サポート、規格・法令、書籍、その他

Support & Service

新規見込み顧客の獲得から深耕営業、そして商談、受注へ—
会期中はもちろん開催前も含めて様々なコンテンツを設け、
出展者の皆さまにひとつでも多くのビジネス機会を
創出いただけるよう、一貫してサポートいたします。

サポート&サービス

▶ 特別展示コーナー

包装や製造にまつわる近未来を描く特別展示コーナーを各種計画しています。人手不足、属人化の解消、クイックメンテナンスなど人依存から脱却し、生産性を向上させる“スマートマシン”や“スマート製造ライン”の実現に向けた「**包装×DX**」。省エネ・省資源、ロス削減、環境配慮包材とその機械対応、環境配慮設計など、持続可能な社会の実現に向けた「**包装×GX**」。包装を軸とした解決策が集結し、本コーナーから皆様の出展ブースへの羅針盤として機能する出展者参加型企画です。どうぞご期待ください！

▶ 出展者セミナー

主催者が用意する特設ステージで、新製品・新技術をプレゼンテーション。ブースでの製品展示とセミナー形式の相乗効果で五感に訴えかけ、来場者の記憶に残るプロモーションが可能になります。

▶ JAPAN PACK AWARDS

2009年にはじまり今回で第9回を迎える表彰制度で、出展者が日頃から取り組んでいる技術研究・開発の成果を広く発信。最優秀賞・優秀賞を獲得された製品を対象に、会期中には報道関係者を招いた表彰式を執り行います。

▶ 包装相談コーナー

“お困りごと”を抱えた来場者に包装のプロが直接お応えする、当展オリジナルのコーナー。出展者にご提供いただく最新技術情報と主催者独自のデータベースで、来場者ニーズに合致する出展者をご紹介します。

▶ デジタルツール

出展者専用ページ情報の追加

製品の情報や動画、資料などをより詳細に掲載する機能を追加することができます。具体的な製品情報を出展者専用ページに載せることで、来場対象者へ強くアプローチが出来ます。

出展ブースでのログ取得アプリ

来場者のQRコードを読み取ることで簡単に情報を取得できる専用アプリをご用意します。専用端末も不要なので、お手持ちのスマートフォンで使うことができます。



Initiatives to Attract Visitors

出展の効果を最大限にし、多くの方に来場いただくために、様々な形でプロモーション活動を展開します。メディアやウェブサイトなどを活用し情報発信を強化します。

来場誘致施策

▶ Invitation

案内状

- 出展いただいた皆様には使用枚数を無料で提供いたします。
- デジタル版の案内状も提供します。
- 主催者・事務局からも後援・協力団体などを通じて案内状配布、来場誘致を展開します。



※イメージ



▶ Seminar

国内外展示会への参加／

事前セミナーの開催を通じたプロモーション

様々な関連展示会との連携により、案内資料配布やポスター掲出などを実施し事前PRを推進。さらに包装関連セミナーを随時開催し、ユーザー業界のニーズに応える最先端情報を発信。その具現化が見られる場所として展示会来場を訴求します。



▶ Paid Media

広告展開

関連業界紙誌やグローバルパートナーイベントを通じて広告展開。幅広い層の来場見込対象者にPRします。



※イメージ

▶ Publicity

主催者リリース配信

広報活動、出展ブース・製品に関する取材誘致、記事化促進、テレビ取材アレンジなど、メディアを活用した情報発信を強化しています。

◆ 情報発信実績

新聞・雑誌	<p>掲載数:133件</p> <p>【主な媒体】※順不同</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本経済新聞 ● 日刊工業新聞 ● 日本食糧新聞 ● 日本商業新聞 ● 包装タイムス
オンライン	<p>掲載数:268件</p> <p>【主な媒体】※順不同</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東洋経済オンライン ● 読売新聞オンライン ● 産経ニュース ● 現代ビジネス ● Yahoo! ニュース
TV	<p>TBS「The TIME,」 「食中毒防ぐパッケージ進化」袋「ガス」鮮度保つ最新技術</p> <p>NHK「おはよう日本」 「おはBiz 脱プラスチックへ紙を特殊加工」</p>
メールマガジン	<p>配信数:819,117件/18回</p> <p>配信期間:2022年7月~2023年10月</p>

出展料／申込方法

1 出展料

■ 1小間あたり：間口=2,970mm、奥行=2,970mm（スペースのみ）

一般	@360,000円(税別)
正会員	@270,000円(税別)
賛助会員	@310,000円(税別)

希望の小間タイプ

シングル・ダブル小間は原則として他社小間が隣接します。ブロック小間も場合により他社小間が隣接することがありますのでご了承ください。



【出展料に“含まれない”もの】

■ 間仕切壁以外の小間装飾

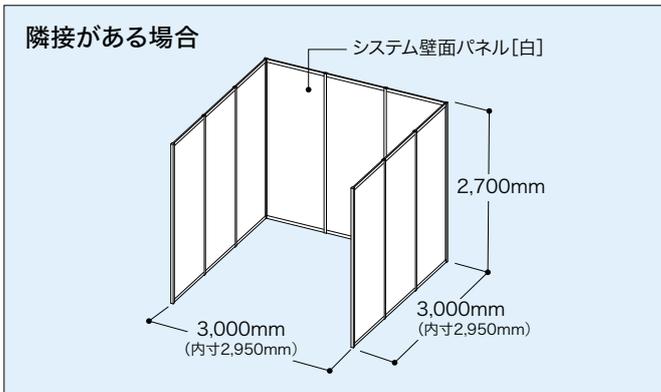
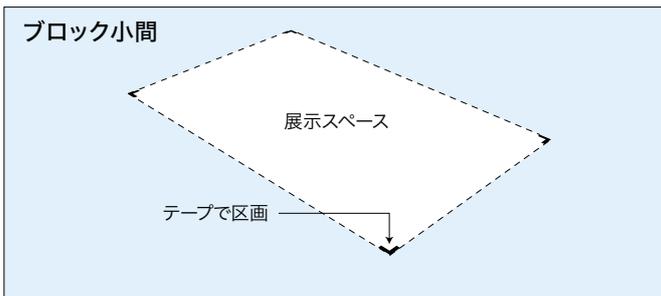
基礎パネル以外の小間装飾は基本的に出品者が行います。出品者の希望または、小間設計に係わる法令上の必要性に応じて発生する費用があります。ディスプレイ備品、パソコン、モニター等の有料レンタルは後日配布する「出展マニュアル」にてご紹介します。

■ その他

詳細については、後日配布する「出展マニュアル」でご案内します。

【出展料に“含まれる”もの】

- ①出展小間
- ②間仕切壁(隣接小間がある場合の背面壁・側面壁/システムパネル)
※通路面に間仕切り壁は設置されません。
- ③共用施設の工事・維持費
- ④広告宣伝費(ポスター・案内状・ウェブ媒体等による当展全体の広報)
- ⑤当展ウェブサイト内に設置する出品者専用ページの基本利用料金
- ⑥展示会全般の企画・運営・管理費



2 出展申込方法

STEP 1

出展者メールアドレス登録フォームよりメールアドレスを登録

公式WEBサイト内の出展者メールアドレス登録フォーム(<https://www.japanpack.jp/exhibit/entry/>)にアクセスし、メールアドレスの登録を行ってください。

※@gmail.comなどのフリードメイン、既に登録されているドメインでの登録は出来ませんので予めご了承ください。

STEP 2

認証コードの入力

登録されたメールアドレスに認証コードを送付させていただきますので、入力画面より認証コードを送信してメールアドレスの認証を行ってください。

STEP 3

出展申込フォームに入力

メールアドレス認証後、「出展規定」に同意の上、案内に従って出展申込フォームより出展内容を入力し、出展申込みを行ってください。なお、出展申込内容に不備等があった場合には主催者よりメールにてお知らせいたします。

STEP 4

出展申込の完了

出展申込内容を確認後、主催者から出展申込を受理した旨を出展申込受理メールにてお知らせいたします。このメールを送信した時点で出展申込が完了したものといたします。

STEP 5

出展料の振り込み

後日請求書を発送いたします。期日までに入金を確認できない場合には申し込みを取り消すことがあります。振込手数料は出品者にてご負担ください。

出展に向けて(スケジュール)

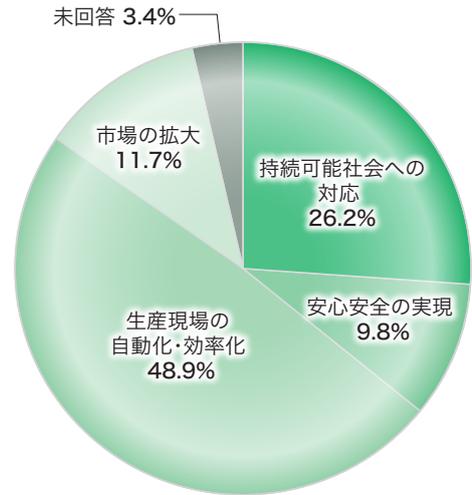




来場実績

最も関心のある展示テーマは何ですか？

※複数回答あり



■ 前回展来場者数 (JAPAN PACK 2023)

登録来場者数

34,323名

海外来場者数

1,465名

日付	天候	来場登録者数(名)		
		国内	海外	人数
10月3日(火)	晴れ	5,889	599	6,488
10月4日(水)	くもり	7,985	346	8,331
10月5日(木)	晴れ	9,142	403	9,545
10月6日(金)	晴れ	9,842	117	9,959
合計		32,858	1,465	34,323

■ 来場目的に対する達成度(有益性)について



■ 来場者の業種

製パン・製菓	5.0%	受託製造・包装	1.3%
食肉・水産物	2.6%	その他サービス業	1.0%
農産物	1.4%	包装機械	5.1%
麺類	1.0%	機械・機器部品	6.9%
調理食品	2.3%	ロボット	0.7%
飲料・乳製品	2.8%	包装材料・容器	15.9%
その他食品	6.7%	印刷	8.8%
医薬品	2.1%	パッケージデザイン	1.1%
化粧品	2.0%	情報機器・ソフトウェア	1.1%
日用品	1.4%	設備・建築	0.8%
化学品	3.4%	エンジニアリングシステム	0.4%
繊維	0.7%	官公庁・団体	0.5%
雑貨・文具	0.8%	教育機関・研究機関	0.1%
鉄鋼	0.5%	一般・個人	6.4%
輸送機器	0.5%	学生	1.0%
電気	1.2%	報道関係	0.9%
小売・流通・EC	2.3%	その他	2.3%
商社	9.0%		

来場者の声

現代の製造技術が見られて良かったなと思いますし、日本ならではの技術が世界に出て行ってくれることを期待しています。

最近のトレンドで紙を使った包装資材が増えてきているなと思いました。

規模が大きいというのも特徴だと思いますし、かなりの数の企業が出展するというのも来場するのに非常に良いと思います。

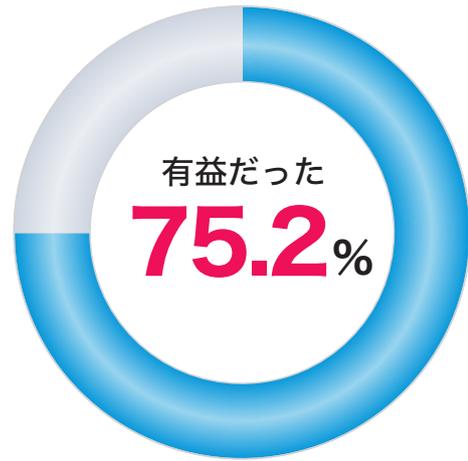
包装機械だったり包装材料だったり食品だったり、色んな分野の方が集まっているので、凄い勉強になるなと感じています。

実際の機械が見れたり写真が撮れたりするところは凄く魅力的だなと思いました。

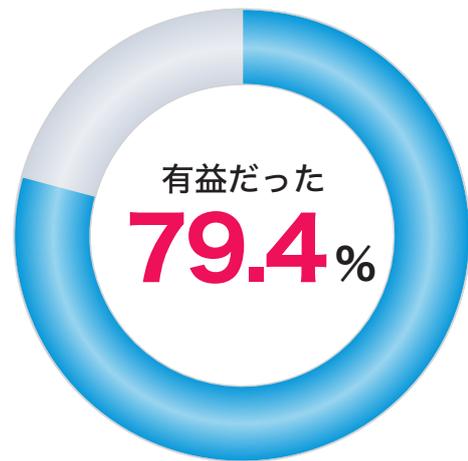


出展実績

■新製品発表の場として



■企業/製品イメージ向上などブランディングの場として



■前回展出展者数（JAPAN PACK 2023）

420 社・団体
(内、海外出展8カ国)

1,873 小間

展示分類	JAPAN PACK 2023	
	出展者数	割合
第1類 包装機械/荷造機械	118	28.1%
第2類 包装資材・容器	109	26.0%
第3類 印刷機械・関連機器/包材加工機械	41	9.8%
第4類 ロボット/機械部品・要素技術/包装関連機械/検査機・検出機	66	15.7%
第5類 食品加工機械・関連機器	22	5.2%
第6類 医薬品・化粧品・日用品製造機械・関連機器	2	0.5%
第7類 環境対策機械・関連機器	7	1.7%
第8類 衛生管理機器・資材	6	1.4%
第9類 物流機械・関連機器/店舗設備機械	16	3.8%
第10類 デジタル技術/ソフトウェア	11	2.6%
第11類 エンジニアリング・システム	0	0.0%
第12類 団体/プレス/研究・教育機関/人材サポート/その他	22	5.2%
合計	420	

■海外出展者数

中国	香港	マレーシア	インド
台湾	シンガポール	韓国	ドイツ

出展者の声

環境配慮について自分たちが何をしていったらいいのか、そういうヒントが見つかる。

全世界からいろんな方が来ていただけるようになっており、グローバルな観点から製品を見ていただける場となっている。

包装を軸に多数の幅広い業種のお客様がいらっしゃるところに魅力を感じています。

特に包装材料に実際に関連する製造業の来場者が非常に多い点が特徴であり、魅力だと思います。

他の展示会に比べて非常に手厚いケア・サポートがあったと感じました。

JAPAN PACK 2023 前回展出展者一覧

会社名/団体名

会社名/団体名		会社名/団体名	
ア			
IMV(株)	キソー工業(株)	ゼネラル(株)	
青木工業刃物(株)	キムラシール(株)	ゼネラルパッカー(株)／三和プラス(株)／	
(株)旭金属／(株)旭プレジジョン	キャディ(株)	(株)第一包装機製作所	
(株)アスウィル	キョウエイ(株)	ソトウ(株)／(有)バックユーワ	
(有)アトリエケー	協栄電機(株)	タ	
(株)アパックス	協栄プリント技研(株)	第一大宮(株)	
アムンゼン(株)	(株)京都製作所／	(株)第一包装機製作所	
アルテック(株)	IDECファクトリーソリューションズ(株)	(株)ダイケン	
アルマーク(株)	京町産業車輛(株)	大成ラミック(株)	
アンリツ(株)	協和電機(株)	ダイセルミライズ(株)／大陽日酸(株)	
(株)E&V／エバーテックプラスチック(株)／	クイック・ロック・ジャパン(株)	(株)高砂	
尚喬雷射科技(株)	(株)グリーンプラス	高千穂精機(株)	
E80グループ	(株)Closer	多賀電気(株)	
イーデーエム(株)	(株)ケーテー製作所	タマパック(株)	
(株)イシダ／日新電子工業(株)	ケーユーシステム(株)	田村機械工業(株)	
伊藤忠紙パルプ(株)	(株)光伸舎	(一社)中部包装食品機械工業会	
伊藤敏(株)	(株)光文堂	ツキオカフィルム製薬(株)	
稲畑産業(株)	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 高度ポリテクセンター	椿本興業(株)	
(株)イノアックコーポレーション	(株)コーレンス／ブルパック社	(株)T&K TOKA	
茨木精機(株)	コグネックス(株)	DKSHマーケットエクспанションサービスジャパン(株)	
(株)イマオコーポレーション	(株)コバード	(株)テクノサポート	
(株)イムラ	(株)コマック	(株)テクロンジャパン／	
(株)インターナショナル三興	コムネット(株)	TECH-LONG PACKAGING MACHINERY Co.,Ltd／	
(株)ウイル	コンゴテックノロジー(株)	CMN JAPAN	
ウインクレル(株)／メスパック／シューベルト／	サ	テュフライランドジャパン(株)	
ティーガールテン	サイエナジー(株)	(株)寺岡精工	
(株)イー・アンド・デイ	(株)サイレック	テラダ・トレーディング(株)	
ACS(株)	蔵王産業(株)	デルタ電子(株)	
エーシンパック工業(株)	酒井化学工業(株)	テンチ機械(株)／テンチ産業(株)	
(株)エクシール	(株)サムソン	東京計器(株)	
(株)エクト	三恵金型工業(株)	東京工科大学	
エコスリージャパン(株)	三光機械(株)	(株)東京自働機械製作所／東京施設工業(株)	
(株)エコノス・ジャパン	(株)サンステーションシステムズ	東洋機械(株)	
SMC(株)	(株)サンユー印刷	(株)東陽機械製作所	
(株)エスケイセールス	(株)GSIクレオス／稗物産(株)	(株)東伸	
エスコグラフィックス(株)／エクスライト社	(株)ジーティービー	(株)トーヨー	
エヌエス技研(株)	シール栄登(株)	トーヨーコーケン(株)	
エプソン販売(株)	シール工業(株)	(株)トーワテクノ	
(株)エマー自動機	シールドエアージャパン(同)	トキワ印刷(株)	
(株)エムエスティ	(株)ジェイビーエフサプライ	トキワ工業(株)	
王子エフテックス(株)／王子タック(株)	シグマ紙業(株)	(株)トシコ	
大紀商事(株)	四国化工機(株)	トタニ技研工業(株)	
大阪シーリング印刷(株)	(株)システムスクエア	TOPPAN(株)	
(株)大阪真空機器製作所	シデル・ジャパン(株)／E80グループジャパン(同)	(株)トパック	
(株)大阪タイユウ	柴田科学(株)	(株)トミー精工	
オーシャンテクノロジー(株)	澁谷工業(株)／	(株)トヨコン	
(株)オートニクス	シブヤパッケージングシステム(株)／	(株)トライテック	
大森機械工業(株)	シブヤ精機(株)／(株)カイジョー	ナ	
岡田紙業(株)	(株)ジャパン・パッケージ	NASCO(株)	
(株)オクイ	城南自動機(株)／城南オートマチック(株)	鍋屋バイテック会社	
オリヒロ(株)	(株)松楽産業	軟包装衛生協議会	
オルファ(株)	シリウスビジョン(株)	(有)新潟総合紙器	
カ	SINKPIA・JAPAN(株)	(株)西村機械製作所	
加越(株)	(株)シンク・ラボラトリー	ニッカ電測(株)	
(株)カジワラ	(株)新盛インダストリーズ	(株)ニッサンキコー	
(株)型久堂	新東工業(株)	(株)日本エンジニアリングサービス	
(株)KALBAS	(株)進洋	日本機械商事(株)	
(株)川島製作所	信和工業(株)	日本規格協会ソリューションズ(株)	
(株)カントー	(株)SCREENクリエイティブコミュニケーションズ	日本工業刃物(株)	
(株)キーエンス	(株)SCREENクリエイティブコミュニケーションズ／	日本自働精機(株)	
キーフェル(株)	(株)SCREEN GP ジャパン／	(一社)日本食品機械工業会	
菊水テープ(株)	(株)SCREENグラフィックソリューションズ／	日本製図器工業(株)	
紀州技研工業(株)	Comexi Group Industries S.A.U.	(協組)日本製パン製菓機械工業会	
	(有)スコットブランニング	日本テクノロジーソリューション(株)	
	スズキマシン リエンジニアリング(株)	(株)V・MUST／(株)日本電商	
	ストラパック(株)	(株)日本ピスコ	
	スライスジャパン(株)	(一社)日本粉体工業技術協会	
	静甲(株)／(株)共和テック	日本包装機械(株)	
	積水樹脂(株)	(公社)日本包装技術協会	

(株)日本包装リース	大和製衡(株)	Taiwan External Trade Development Council (TAITRA)
日本ボールドウィン(株)	山中産業(株)	TZAW BAO CO., LTD
日本ポリスター(株)	(株)ユーキ	WEBCONTROL MACHINERY CORP.
(公財)日本容器包装リサイクル協会	ユーザックシステム(株)	Weihai Aisha Packaging Products Co., Ltd
(株)NichiRica	ユーロフィン・プロダクト・テストング(株)	WENZHO ECHO MACHINERY CO., LTD
(一社)日本ロボット工業会	ユニック産業(株)	Xiamen Jufu Plastic Products Co.,Ltd
(株)New IWASHO/ダックエンジニアリング(株)	(株)ユニバック	XIAMEN WINKING NEW MATERIAL CO.,LTD.
(株)ネクサスエアー	ユニバルス(株)	YINTENG PACKAGING TECHNOLOGY (SHANGHAI) CO.,LTD.
ノードソン(株)	ユニフレックス(株)/マールパッハ	YO DEN ENTERPRISES CO., LTD
のむら産業(株)	(株)横浜自働機	Zhejiang Angtian Plastic Industry Co., Ltd.
ハ	(株)吉田印刷所	Zhejiang Discover Machinery Manufacturing Co.,Ltd
ハーマン・ウルトラソニック・ジャパン(株)	(株)ヨシダキカイ	ZheJiang Yujun Packing Machinery Co., Ltd
(株)パイオニア風力機	ラ	スタートアップ&アカデミックエリア
萩原工業(株)	(株)ライスター・テクノロジーズ	(株)APTO
バックウェル(株)	(株)ラヤマ・バック	ei3 ジャパン
PACRAFT(株)	リンテック(株)	イノテック(株)
(株)ハナガタ	リンレイテープ(株)	オーミケンシ(株)
(株)花塚製作所	(株)レザック	(有)三幸電機製作所
(株)パピルスカンパニー	ロパテックジャパン(株)	西村製作(株)
(一社)ハラル・ジャパン協会	ワ	(株)バリッジ
ピアブ・ジャパン(株)	ワイエイシイマシナリー(株)/ザ・バック(株)	VPAK(株)
(株)日立産機システム	若林工業(株)	(株)FingerVision
ピルツジャパン(株)	(株)和広エンジニアリング	(株)フツパー
(株)ファーストレイト	(株)渡辺護三堂/(株)アサヒフレックス	三井物産 LCA Plus
ファナック(株)	海外出展者	(株)モルフォAIソリューションズ
(株)フクチ産業	Am-Besten Technology LTD	山形大学 硯里研究室
富士印刷(株)	Apollo Poliwrap	(株)ユボ・コーポレーション
富士インパルス(株)	AstroNova Inc/(株)ムサン	MOBAC SHOWパビリオン
(株)フジキカイ	Berry Plastics Qingdao Ltd.	(株)愛工舎製作所
(株)不二レーベル	Brilliant Tin Box Manufacturing Co.,Ltd	(株)飯田製作所
不双産業(株)	Choebe (Dongguan) Packaging Co., Ltd	関東混合機工業(株)
ブラザー工業(株)/	DONG KWANG SA WOO	(株)コトブキベーキングマシン
ブラザーインダストリアルプリンティング(株)	DONGGUAN DINUO PACKAGING CO., LTD	三幸機械(株)
(株)古川製作所/(株)ハイバック/	Dongguan Huancheng Packaging Co.,Ltd	千代田金属工業(株)
(株)シンワ機械	DONGGUAN ZHITENG PLASTIC PRODUCT CO.,LTD	(協組)日本製パン製菓機械工業会
フレスコ・システム・ジャパン(株)	DSB BUSINESS MACHINE CO., LTD.	(株)ネクスト
ブロンニック(株)	EASTERN INDUSTRIAL CO., LTD.	正城機械(株)
兵神装備(株)	EB PACKAGING SDN BHD	(株)マスダック
ベストパック(株)	EKO Enterprise Limited	CLOMAパビリオン
ベッコフオートメーション(株)	FLEX-AUTO INDUSTRIAL CORP.	アスカカンパニー(株)
ポストミック・ニッタ(株)	GT-Max Plastic Industries (M) Sdn. Bhd.	環境エネルギー(株)
ホログラム・ワークス(株)	Guangzhou Argion Electric Appliance Co., Ltd.	(株)環境経営総合研究所
マ	Guangzhou Weiqian Inkjet Technology Co.,LTD	キョーラク(株)
マーケム・イマージュ(株)	Hualian Machinery Group Wenzhou Import & Export Co., Ltd.	クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス事務局
マールス(株)	Huanan Xinhai (shenzhen) Technology Co., Ltd.	ガンゼ(株)
(株)前田シェルサービス	HUIZHOU BETA PACKTECH CO., LTD.	(株)コーレンス/ブルパック社
マキー・エンジニアリング(株)	IDEA EVER PLASTIC (QINGDAO) LTD.	シグマ紙業(株)
(株)マクニカ	Informa Markets	水性フレキシ促進協議会
MARTINI TECH(株)/PACTUR s.r.l./Seven Fluss S.r.l	Integral Material Pte. Ltd./RightPak Technology Co. Ltd	東都成型(株)
丸天産業(株)	IRON MAN PACKING INDUSTRY CO., LTD.	東名化学工業(株)
丸東産業(株)	Jiangsu TOM Intelligent Equipment Co.,Ltd.	東洋インキ(株)
マンローランドゴスウェブシステムズジャパン(株)	KOREA PACK 2024	NISSHA(株)
三浦工業(株)	KOREA PACKAGING MACHINERY ASSOCIATION	日本コパック(株)
(株)美木多機械/(株)ミキタ	KOUSHOU PACKING (SZ) CO.,LTD.	発泡スチロール協会
(株)三橋製作所	Leuze electronic GmbH + Co. KG/	福島印刷工業(株)
(株)ミヤコシ	(株)ケーメックス・オートメーション	(株)平和化学工業所
武藤工業(株)	LI SHENG COLOR PRINTING CO., LTD	北海製罐(株)
(株)ムラコシ	LIN BIN PLASTICS MFG. CO	三菱電機(株)
マルチバック・ジャパン(株)	LINYI GUOSEN ECO TECHNOLOGY CO.,LTD.	レンゴー(株)
(株)メカナイズ	Neostarpac Co., Ltd.	包装ライフサイクルコーナー
(株)METJAPAN	Pack Leader Machinery Inc.	王子ホールディングス(株)
モスカ・ジャパン(株)	Qingdao Runhaoda Technology Co., Ltd	大森機械工業(株)
(株)モトヤ	QINGDAO ZHENGDEXIANG INDUSTRY AND TRADE CO.,LTD.	(株)川島製作所
森川フードマシン(株)	RESPACK MANUFACTURING (M) SDN BHD	大日本印刷(株)
ヤ	RUIAN YEI TRADE CO., LTD	TOPPAN(株)
八洲貿易(株)	Shanghai Halfly Industrial Co., Ltd.	日本製紙(株)
(株)ヤナギヤ	Shanghai Tuozhuo New Materials Tech Co., Ltd.	プラスチック容器包装リサイクル推進協議会
藪内産業(株)	SUZHOU DOTON MACHINERY CO., LTD.	
山崎産業(株)	Suzhou Jinyongshun Packing Technique CO.,LTD	

出展規定

JAPAN PACK 2025[日本包装産業展](以下、本展)への出展申込みを行った企業・団体(以下「出展者」)は、本展主催者である一般社団法人日本包装機械工業会(以下「主催者」)が定める『出展のご案内』ならびに『出展マニュアル』(2025年5月頃配布予定)の全記載内容の順守を承諾したものとします。

1. 出展申込/出展料

1-1 出展対象

- 1 本展の出展対象者は、包装にまつわる商取引および研究や情報発信等、産業界の発展に資する企業・団体・組織・個人、その他主催者が認める者となります。
- 2 本展への出展を希望する場合、本規定の記載事項ならびに本展運営に関し発信される主催者からの通知を全て順守することを承諾したものといたします。
- 3 主催者は、出展申込者が本展の開催趣旨・目的に合致しないと判断した場合には、出展申込みのお断りおよび取消をできるものといたします。その際、出展申込者に生じた損害・費用その他に対して一切の責任を負いません。

1-2 出展申込受付期間

- 1 出展申込受付期間は、原則として2024年9月18日(水)から2025年3月31日(月)までといたします。
- 2 出展申込受付期間中であっても、主催者が定める会場スペースに対して満小間になった時点で申込受付を締切場合があります。
- 3 出展申込期間を過ぎた2025年4月1日(火)以降におきましても、会場スペースに空きがある場合には出展募集を継続する場合があります。該当する時期での出展可否は主催者へ直接お問合せください。

1-3 出展申込方法および出展料の支払い

- 1 本展へ出展申込みをされた際は、本規定の全記載内容を確認・承諾したものといたします。
- 2 本展公式WEBサイト(<https://www.japanpack.jp/>)内に設置する[出展者メールアドレス登録フォーム]によりメールアドレスの登録を行ってください。メールアドレスを入力後、認証コードをメールにて送付させていただきますので入力画面より認証コードを送信してメールアドレスの認証を行ってください。なお、@gmail.comなどのフリードメイン、または既に登録されているドメインでの登録は出来ませんので予めご了承ください。
- 3 メールアドレス認証後、「出展規定」に同意の上、案内に従って[出展申込フォーム]より出展内容を入力し登録を行ってください。登録後に入力した内容を反映した自動返信メールを送付いたします。
- 4 主催者は、出展者が[出展申込フォーム]に登録した記載内容を確認のうえ、出展申込みを受理いたします。登録内容に不備等があった場合には主催者よりメールにて通知させていただきます。
- 5 主催者は申込みを受理した後、登録された担当者宛に電子メールでその旨を通知いたします。この通知メールの発信を以て、正式な出展申込み完了といたします。なお、この通知メールは上記3に記載した自動返信メールとは異なります。
- 6 主催者は、出展者に対して順次、出展料の請求書を発行いたします。出展者は、支払期日までに主催者指定の口座に出展料をご送金ください。同支払期日・主催者指定口座は請求書に記載されております。振込手数料は出展者がご負担ください。
- 7 主催者が発行した請求書に対して支払期日までに出展者からの出展料のご送金を確認できない場合、当該出展者の都合による出展申込取消とみなし、項目1-5(出展申込の取消)の適用となります。
- 8 主催者は、上記6~7に定める出展料支払いスケジュールの記載事項に関わらず、出展者の与信や過去の取り引き履歴、出展申込時期等に基づき、個別の支払いスケジュールを定める場合があります。出展申込者がこれに同意しない場合、主催者は出展申込みのお断りおよび取消をできるものといたします。その際、出展申込者に生じた損害・費用その他に対して主催者は一切の責任を負いません。

1-4. 出展料

- 1 1小間(2.97m×2.97m=約8.82㎡)につき、下表の通りです。なお、出展開催期間(2025年10月7日(火)から10月10日(金))時点で一般社団法人日本包装機械工業会の正会員または賛助会員の資格を有し、年会費の納入が完了している出展者には、正会員または賛助会員の出展料がそれぞれ適用されます。当該期間の途中で一般社団法人日本包装機械工業会の正会員または賛助会員から退会した場合、一般価格との差額を請求いたします。

所属区分	①一般	②正会員	③賛助会員
出展料(税抜)	360,000 円/小間	270,000 円/小間	310,000 円/小間

- 2 出展申込み時点で一般社団法人日本包装機械工業会の正会員および賛助会員の資格を有しておらず、かつ入会を希望する場合、一旦一般価格で申込みおよび出展料請求の経理処理を行い、入会が理事会で承認され確定した後にその差額を返金いたします。
- 3 出展申込みを行った企業・団体が一般社団法人日本包装機械工業会の正会員もしくは賛助会員のグループ会社・関連団体等である場合は、会員区分での出展料適用はされず、一般価格が適用されます。
- 4 出展料に含まれるものは、以下①~⑥の通りです。
 - ① 出展小間
 - ② 間仕切壁(隣接小間がある場合の背面壁・側面壁 ※システムパネル)
 - ③ 共用施設の工事・維持費
 - ④ 広告宣伝費(ポスター・案内状・ウェブ媒体等による出展全体の広報)
 - ⑤ 当展ウェブサイト内に設置する出展者専用ページの基本利用料金
 - ⑥ 展示会全般の企画・運営・管理費
- 5 出展料には早期出展申込みに対する割引制度があります。対象は下記①および②の双方を満たす出展者となります。ぜひご利用ください。
 - ① 前回展JAPAN PACK 2023の出展者(共同出展者および企画展示コーナーでの出展者を含む)
 - ② 2024年12月31日(火)までに展申込みを完了した出展者割引金額: 1小間あたり1万円(消費税別)

1-5. 出展申込の取消

- 1 主催者が出展申込みの受理を通知した後、出展者が都合により出展申込みの全てまたは一部の取消しを希望する場合、電子メール等の双方が記録を確認できる形式での任意書面による出展申込み取消通知を主催者に行う必要があります。
- 2 主催者が出展者からの出展申込み取消通知を受理しこれを承認した場合、出展者には次の出展解約料をお支払いいただきます。なお、解約料は2025年1月1日(水)から発生し、出展者からの出展申込取消通知を主催者が受理した時点金額算定の基準といたします。
 - 2025年1月1日(水)~2025年3月31日(月)
当該出展料総額の50%(消費税不課税)
 - 2025年4月1日(火)以降
当該出展料総額の100%(消費税不課税)
- 3 出展申込み取消に伴う出展解約料には、項目1-4(出展料)に定める割引制度を適用いたしません。
- 4 出展者が出展料を主催者指定の口座に送金した後に、主催者に対して出展申込み取消通知を行った場合、主催者は出展解約料(返金に係る手数料を含む)との差額を精算いたします。
- 5 出展申込みが取消された当該小間は、主催者が適切と考える方法で使用できる権利を有するものとします。
- 6 主催者は、本展の会期前および会期中における本出展規定違反または出展申込書への虚偽記載が発覚した出展者の出展申込み/小間割当を取り消しできるものといたします。また、本項目(出展申込の取消)により、当該者には出展解約料をお支払いいただきます。

1-6. 出展小間位置の決定

- 1 出展者の小間位置は、展示製品・出展規模・過去の実績・申込順位・『小間割当調査票』記載事項等を総合的に勘案のうえ、主催者が決定いたします。出展者の小間位置は、出展者説明会(2025年5月開催予定)で発表いたします。
- 2 『小間割当調査票』は2025年1月以降、出展申込み順を原則として順次、主催者から出展者の担当者へ電子メールにて送付いたします。展示製品の稼働に必要な設備(ガス・給排水・エア)の有無等、小間位置の決定に際して重要な参考資料としてご提出いただきます。

3 主催者が決定した小間位置の移動および交換は原則としてできません。ただし、出展申込受付期間の終了後に申し込まれた新規出展者の追加、小間数の増減による変更に関してはその限りではありません。

1-7.第三者への小間の貸与・転売の禁止

出展者は、有償無償にかかわらず、割り当てられた小間の一部または全部の、第三者への貸与・転売および出展者相互間での交換ができません。なお、主催者は、小間の一部または全部の第三者への貸与・転売および出展者相互間での交換を行われた出展者の小間割当を取り消しできるものといたします。また、項目1-5(出展申込の取消)により、小間割当を取り消された当該出展者には解約料をお支払いいただきます。

2. 搬入出／展示装飾規定

2-1.出展製品等の搬入出および装飾施工／撤去

展示製品等の搬入出および装飾施工は、以下の主催者通知期間内にて行ってください。

- 施工・搬入:2025年10月4日(土)-10月6日(月)
- 搬出・撤去:2025年10月10日(金) 17:00-10月11日(土) 9:00

2-2.基礎小間および装飾規定

- 1 主催者は、基礎小間としてシステムパネルによる間仕切壁(背面・側面)と小間番号板を施工します。半島小間(ブロックおよび一部のダブル小間)の場合は隣接小間に接している面の間仕切壁と小間番号板のみとなります。隣接小間のない島小間(ブロック小間)の場合、間仕切壁は施工いたしません。
- 2 上記1以外の小間装飾にかかる費用は、すべて出展者の負担となります。
- 3 基礎小間の高さは2.7mです。小間内装飾の高さは、隣接小間に接している面のみ1.0m内側にセットバックした範囲内で2.7mを超える装飾が可能です。通路に接している面はセットバックの必要はありません。ただし、出展者は装飾工事計画図面および必要書類を主催者指定基礎小間施工会社に提出し、主催者ならびに所轄消防署の許可を得ることが施工条件となります。なお、本規定は関係機関・団体等による各種ガイドラインを順守する形で変更する可能性があります。詳細は『出展マニュアル』(2025年5月頃配布予定)をご確認ください。
- 4 会場全体の見通しおよび避難通路の確保のため、壁面開放規定(全面壁の禁止)を順守してください。通路から1m以内の範囲に、高さ1.2m以上の構造物(壁面・柱・展示台等)を設置する場合は、小間の一辺の長さの1/2までを施工可能範囲といたします。また、避難通路を必ず設けてください。

2-3.火気・危険物の取扱い

- 1 展示会場内は裸火の使用・危険物の持込みが禁止されています。これを解除する場合は所轄消防署長への届出、承認が必要です。なお、持込量は危険物の小間内レイアウトや隣接小間の状況などにより制限があります。指定数量を超える内蔵油を使用する機械の実演はできません。
- 2 水素の持込みならびに使用した展示はできません。

2-4.『出展マニュアル』記載規則の順守

「2.搬入出／展示装飾規定」記載事項は『出展マニュアル』(2025年5月頃配布予定)を以て確定版といたします。同資料で規定する内容を順守してください。

3.その他出展に関する規定

3-1.個人情報収集を主目的とした出展の禁止と個人情報保護法の順守

ブース内において出展者自身が取り扱う製品の展示や商品・サービスのPRをすることなく来場者の個人情報の収集を主目的とした出展を禁止いたします。また、来場者から個人情報を取得する際は、個人情報保護法の要件を満たしたうえで適切にご対応ください。

3-2.製品デモ・プレゼンテーション

- 1 展示製品の実演や説明等の情報発信行為は、自小間内でのみ可能です。自小間の占有スペース範囲外における、来場者の強引なブースへの誘導行為、展示製品の実演(デモンストレーション)や説明、パンフレット類の配布、来場者勧誘、物品の販売等は禁止いたします。なお、展示製品の実演の際、出展者は来場者への十分な安全対策を講じてください。

2 音響機材をご使用して出展製品の説明等を行われる場合には、近隣出展者の商談の妨げとならぬよう、以下①～④の条件をご遵守ください。

- ① 小間正面から2.0mの距離で測定して、60デシベル以下の音量でご使用ください。
- ② スピーカーを通路側以外へ向けてご設置ください。
- ③ 来場者の客席および立ち位置を自社小間内に確保してください。
- ④ 近隣出展者および来場者の商談等の妨げになると主催者が判断した場合には、当該出展者は主催者の指示に従ってください。

3-3.試食・試飲

自小間内の実演で生じた食品を試食に提供する場合は、所轄保健所への申請および手洗所設置等、承認条件の順守が必要となります。なお、所轄保健所への申請は主催者が一括して行います。

3-4.写真・ビデオ撮影や模写の禁止

当該出展者または主催者の許可を得ずに、同出展者の出展製品や造作物等の写真・ビデオ撮影や模写を行うことを禁止といたします。ただし、主催者が許可した公式記録撮影班(『公式記録撮影班』腕章着用)ならびに報道関係者(『報道関係者』腕章着用)が本展の会場全景および出展小間等の撮影を行う際は、可能な限りご協力をお願いいたします。

3-5.知的財産権の保護・順守

出展者は、知的財産権(特許権・商標権等)の保護・順守に必要な措置を講じてください。

3-6.損害責任

主催者は本展全般の管理・運営・保全に最善の注意を払いますが、下記の損害などにつきまして、一切の責任を負わないものといたします。

- 1 出展者またはその関係者が小間を使用することにより生じた、人身・物品などに対する傷害・損害など、もしくは出展者またはその関係者の不注意により会場内およびその周辺で生じた人身・物品などに対する傷害・損害など。
- 2 主催者が自然災害・感染症・事故・施設における不測の事態・その他の不可抗力により開催を困難と判断し、本展の会期変更・延期もしくは中止した場合に生じる出展者およびその関係者の損害、費用の増加、その他不利な事態など。
- 3 自然災害・交通機関の遅延・社会不安など不測の事態により生じる出展者およびその関係者の損害など。
- 4 本展に関するあらゆる媒体資料やデータなどに偶発的に生じた誤字・脱字など。

3-7.開催の変更・中止

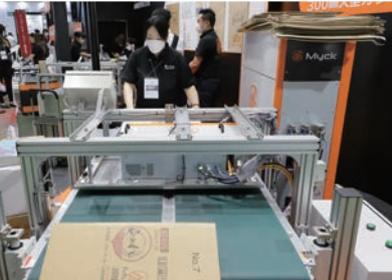
主催者は、以下のような状況が発生した場合には、本展会期の変更・延期もしくは開催を中止することがあります。

- 1 会場およびその周辺において、自然災害・感染症・事故等が発生し、開催が不相当であると判断した場合
- 2 政府・自治体・施設のいずれかもしくはその全部から、本展開催に対する中止命令ないしそれに準じる要請があり、開催が不相当であると判断した場合
- 3 その他、社会情勢や不可抗力事由により、開催が不相当であると判断した場合

上記1～3の状況により開催を中止した場合、お支払いいただいた出展料は、中止判断時点で必要経費を計算し、差し引いた残金から精算いたします。

3-8.諸規定等の変更・追加

主催者は本展の規定等を変更することがあります。規定等の変更が生じた場合、主催者は速やかに出展者に通知いたします。



JAPAN PACK 2025

(一社)日本包装機械工業会 JAPAN PACK 2025運営事務局
〒104-0033 東京都中央区新川2-5-6 包装機械会館3階
TEL:03-6222-2277 / E-mail:japanpack@jpmma.or.jp

www.japanpack.jp

